

ロンドン、2020年3月3日

## インド国営製鉄会社 SAIL のルールケラー製鉄所向け熱間圧延設備がファーストコイルを生産

- 熱延鋼板の年間生産能力は 300 万トン
- 自動車用および API 規格の高品質な鋼板を生産
- ペアクロスミル技術により、平坦度と断面形状を最適に制御
- 迅速な稼働開始を実現

プライメタルズテクノロジーズ（Primetals Technologies）がインド国営製鉄会社 SAIL（以下、SAIL）のルールケラー製鉄所向けに納入した年間生産能力 300 万トンの熱間圧延設備が、2020 年 1 月 31 日、無事ファーストコイルを生産しました。この熱間圧延設備では、自動車産業向けや API 規格の高品質な鋼板の生産が可能であり、ペアクロスミル技術の装備により、平坦度と断面形状を最適に制御します。ホットトライアルの開始からわずか 2 日でファーストコイルが生産されました。

SAIL はインド政府が過半の株式を保有する国営鉄鋼会社で、年間粗鋼生産量を 1,400 万トンから 2,400 万トンに引き上げるという大規模な拡張計画を進めています。インド初の一貫製鋼所として 1955 年に設立されたルールケラー製鉄所では、今後その生産能力を現在の 560 万トンから 1,080 万トンへ引き上げていく予定です。

プロジェクトでは、三菱商事（MC）とインドのラーセン&トゥブロ社（Larsen & Toubro Limited : L&T）からなるコンソーシアムが主契約者となり、MC がコンソーシアムのリーダーとしてプロジェクト全体を管理し、L&T が土木建築と現地調達を担当しました。当社は、メインの技術サプライヤーとして、加熱炉、粗圧延機 1 基、仕上げ圧延機 7 基、ダウンコイラー 2 基、ロールショップシステムや付帯設備などを含め、熱間圧延ラインの設計とエンジニアリング、ならびに主要機械設備の製作を担当しました。また、日立製作所が電気設備と自動化システムの設計、エンジニアリング、および製作を担当しました。

このインド最大規模の熱間圧延設備では、板厚 1.2～25.4 ミリメートル、板幅 725～2,150 ミリメートルのコイルを生産することが可能です。最大コイル重量は 35 トンになります。製品構成は、建設業界向けの普通炭素鋼から、低炭素鋼や高炭素鋼、LPG 圧力容器用の高強度鋼、X100 級を含む API 規格鋼、自動車業界の厳しい要件を満たす高級鋼まで多岐に渡ります。

仕上げ圧延機の 4 基には、ペアクロスミル技術が装備されており、ロール間隙の最適調整によって鋼板の断面形状の微調整が可能になっています。ワークロールとバックアップロールを斜めにクロスさせることにより、ロール同士の間隔が適正に制御され、従来型の 4Hi 圧延機に比べて、板厚が不均一となる板クラウンをより均一に改善します。



2020 年 1 月 31 日、インド国営製鉄会社 SAIL のルールケラー製鉄所でファーストコイルの生産が行われました。

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。 [www.primetals.com/press/](http://www.primetals.com/press/)

**報道関係お問い合わせ先:**

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）  
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内  
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: [twitter.com/primetals](https://twitter.com/primetals)

**プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited)**は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業におけるエンジニアリング、プラント建設、およびライフサイクルサービスの提供を行うパイオニアかつ世界的リーダーです。当社は電機、オートメーション、デジタル化、及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、原材料から完成品まで鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工およびパートナーの出資によるグループ会社で、従業員数は全世界で約 7,000 人です。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト : <https://www.primetals.com/jp>